

文部科学省

「職業実践力育成プログラム」に認定



文部科学省の平成 28 年度「職業実践力育成プログラム」(BP) 認定制度について、本学材料・表面工学研究所の「材料・表面技術マイスタープログラム」が採択されました。

本認定制度は、高等教育機関におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP) として文部科学大臣が認定するものです。

文部科学省「職業実践力育成プログラム (BP) 認定制度について」

■認定プログラムについて

課 程 名	材料・表面技術マイスタープログラム
テ ー マ	中小企業活性化、女性活躍、DX (AI・IoT 等)
期 間	1 年間
職業分野	材料開発担当者、表面処理技術やノウハウの習得希望者
修得資格	履修証明書を発行
社会人の 受講しやすい工夫	短期集中講義、IT 活用(オンライン受講)、(教員の)出張講義
概 要	材料・表面工学におけるエンジニアやエキスパートの育成を目指したプログラムである。本プログラムでは、めっき分野をベースにした表面処理の先端技術および新素材の研究開発などの先端技術を学習し、実務と関連する研究開発を行いながら、産業界で活躍できる人材を育成する。 <u>(様式 1)「職業実践力育成プログラム」(BP) への申請について</u>

※厚生労働省 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）指定講座

1	応募資格	・学校教育法第 90 条に規定する大学に入学することができる者 ・めっき関連産業界に従事する者または材料関連産業界に従事する者
2	募集定員	12 名程度
3	会 場	関東学院大学 金沢八景キャンパス ※会場は変更となる場合があります。
4	履修期間	2025 年 6 月 12 日（木） ～ 2026 年 3 月 13 日（金）
5	修了要件	授業時間数 120 時間以上の修得、且つ中間・最終報告及び審査
6	授 業 料	年間：30 万円（オンライン受講可）
7	出願期間	第 1 次募集 2025 年 2 月 1 日（土） ～ 4 月 18 日（金） 第 2 次募集 2025 年 5 月 7 日（水） ～ 6 月 5 日（木） ※当日消印有効 ※後日（1 週間程）、本学より原則、E メールにて申込受付の連絡をいたします。 ※第 1 次募集で定員に満たない場合は、第 2 次募集を行います。
8	出願方法	受講申込書、最終出身校の卒業証明書を下記の書類送付先に簡易書留（レターパックプラスでの郵送も可）にて送付してください。（窓口受付不可）。 受講申込書はホームページよりダウンロードしてください。 ※両面印刷不可（片面 A4 印刷で 2 頁） ※出願書類に基づき、順次選考を行います。
9	合格発表	第 1 次募集合格発表 2025 年 4 月 24 日（木） 第 2 次募集合格発表 2025 年 6 月 6 日（金） ※選考の結果は E メールで通知します。
10	登録手続	合格された方は受講料を納入してください。 第 1 次募集合格者 2025 年 4 月 24 日（木）～ 5 月 8 日（木） 第 2 次募集合格者 2025 年 6 月 6 日（金）～ 6 月 12 日（木） ※手続き方法については合格通知の際にお知らせします。
11	出願に関する注意	・受理した出願書類及び納入された受講料は、いかなる理由があっても返却いたしません。 ・出願書類に虚偽の記載があった場合、合格を取り消す場合があります。

12	お問い合わせ 書類送付先	関東学院大学 金沢八景キャンパス 研究推進課 BP 担当 徳山 宛 〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1 フォーサイト 21 7 階 TEL. 045-786-2464 
----	-----------------	---

■募集要項

分類	科目名	科目概要	授業時数
必修	新めっき技術	めっきの防食、装飾から各種機能性を付与する新規めっき技術の理論と応用に必要な知識を習得する。	16
必修	材料・表面工学	様々な材料の物性や特性を理解し、その上に最適な表面処理を施すことで必要とする機能を付与できる知識を習得する。	16
選択必修	無電解めっき 実習と応用	電流を流さず化学的な反応による金属薄膜形成の基礎から、更には、環境にやさしい表面処理技術の理論と応用に必要な知識を習得し、実験実習や現場見学などによる実体験を行う。	30
選択必修	電気めっき 実習と応用	電流を流すことによる化学反応を用いて金属薄膜を形成する基礎と理論を習得する。また、電子回路基板や半導体工程の高性能化、小型化に貢献している、溝や Via Hole の埋め込みなどの応用技術も習得する。実験実習を含み、企業とも連携し、現場見学などによる実体験を行う。	26
自由選択	貴金属めっき 実習と応用	我々の生活に近い物や身の回り品、装飾品などに応用される貴金属めっきの基礎から始め、生体適合性があることなどから医療分野への応用も期待されている知識と貴金属のリサイクル、回収などの技術を理解する。また、企業とも連携し、現場見学などによる実体験を行う。	20
選択必修	分析化学・電気化学 測定の基礎と実習	表面処理分野で用いられている分析化学・電気化学の理論、測定法および解析法について理解し、めっき浴組成の決定、添加剤・光沢剤の開発と評価、電解条件の設定、表面・界面特性の評価などへ適用できることを習得する。さらには、実習により分析化学・電気化学測定法の原理と応用について確認する。	10
自由選択	表面処理の ノウハウ	各種表面処理の際、直面する問題点の解決やさらなる高性能化など新規開発に必要なノウハウを解説し、設定されたテーマに対する自由討論により、理論や知識を習得する。また、表面処理を専門とする中小・中堅企業や同分野で女性が活躍している企業の経営者の経験に基づいた関連技術のノウハウなども習得する。	12
自由選択	先端材料・表面処理 技術	必須科目で習得した理論や知識 IoT(Internet of Things) デバイスの開発にも応用できることを理解し、実際、どのような分野に応用可能であるのか	12

		を学習し、今後、どのような分野に活かせることができるのかなどに対する自由討論も行う。	
自由 選択	地域創生実践論	本プログラムは自然科学系のカリキュラムだが、地域創生の取組みはどの分野にも共通して求められる。この科目では、地方創生・地域創生の実践を体感し、知識を習得する。	9
合計	9 科目		151

■カリキュラム一覧 （2024年度の例）

※2024 年度のカリキュラム更新中。

■連携企業

- ・EBINAX 株式会社 <https://www.ebinadk.com/profile>
- ・関東化成工業株式会社 <https://kanto-kasei-kogyo.com>
- ・小島化学薬品株式会社 <http://www.kojima-c.co.jp/>

■受講までの流れ

出願書類提出 	募集要項を確認のうえ、出願書類(受講申込書、卒業証明書)を簡易書留(レターパックプラスでの郵送も可)にて金沢八景キャンパスの研究推進課まで送付してください。 受講申込書 (ホームページよりダウンロード) ※両面印刷不可(片面 A4 印刷で2頁) ※後日(1週間程)、本学より原則、Eメールにて申込受付の連絡をいたします。 ※第1次募集で定員に満たない場合は、第2次募集を行います。 第1次募集 2025年2月1日(土) ～ 4月18日(金) 第2次募集 2025年5月7日(水) ～ 6月5日(木) ※当日消印有効
受講生の決定 	出願書類に基づき、順次、書類選考を行います。 選考結果はEメールで通知します。 第1次募集合格発表 2025年4月24日(木) 第2次募集合格発表 2025年6月6日(金)
受講料の納入手続き 	合格された方は、期日までに受講料をお振り込みください。 第1次募集合格者納入期間 2025年4月24日(木) ～ 5月8日(木) 第2次募集合格者納入期間 2025年6月6日(金) ～ 6月12日(木) ※手続き方法については合格通知の際にお知らせします。 ※受講料を納めた方から順次、受講生として正式決定します。
授業開始	2025年6月12日(木)より授業開始